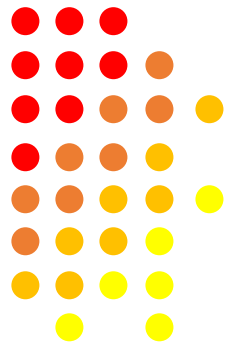


ディスクロージャー誌

2018.8



那須野農業協同組合

組合長あいさつ



JAなすの
代表理事組合長
菊地 秀俊

皆様には、平素より私どもJAなすのをご利用いただき、誠にありがとうございます。

当JAは平成30年8月末において、貯金残高1,664億円、貸出金残高353億円となり、前年同期比でそれぞれ30億円、9億円増加するなど、業務内容は引き続き順調に推移しております。

収益面においては、運用資産の増加や一層の経費削減に努めた結果、経常利益は395百万円を計上するとともに、自己資本比率は17.85%程度となり、財務の健全化を維持しております。

また、本年は「農業者の所得向上」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする「創造的自己改革への挑戦3か年計画」（28～30年度）における最終年であります。残りの期間も自己改革の着実な実践に取り組んで参ります。

今後とも、農家組合員及び地域の皆様とともに歩み、地域経済の発展に寄与すべく、信頼性・健全性の向上とサービスの提供に努めて参りますので、一層のご利用を賜りますようお願い申し上げます。

農業振興活動

●農業関係の持続的な取り組み

(1) 耕種部門では、農産物受検組合、麦・大豆部会を中心に受検対策会議、栽培講習会、現地検討会を開催し、品質向上・安定生産に取り組んでいます。また、放射性物質吸収抑制対策についても、農産物受検組合の協力により円滑な事業推進を図っています。また、各地区の特別栽培米の取り組み及び認定支援、安全・安心の発信のため、GAPの普及に努めています。

(2) 園芸部門では、商標を登録した9品目を「ビューティフルブランド＝BB9」として、那須地域ブランドの中心として捉え、積極的な販売促進活動に取り組んでいます。また、部会組織との連携による市場・量販店における消費宣伝活動・予約相対取引等を進め単価確保に取り組んでいます。

(3) 畜産部門では、県共進会に向けた巡回指導会を実施、優良子牛の生産のため和牛管理技術の研鑽に努めています。一方、肉牛では独自の枝肉研究会を定期的で開催し生産技術の高位平準化と優良牛を一同に集めた共励会を開催し、市場における名声の確立に取り組んでいます。また、各地で開催されるイベントを通じて、地域ブランド「那須和牛」のPR活動を実施し消費拡大に取り組んでいます。

(4) 営農経済渉外（ALK）による営農相談機能の充実と、肥料・農薬等については、見積り合わせによる精力的な価格交渉と仕入れ先の検討を行っており生産資材の価格引き下げに努めています。

(5) 出資型農業法人（株）JAなすのアグリサポートでは、生産者の高齢化や担い手不足で耕作放棄地が増加するなか、地域の担い手の方々と連携して耕作放棄地を減らすな

ど、地域農業の振興を図っていきます。

●地域密着型金融への取り組み（地域の活性化のための取組の状況及び中小企業等の経営の改善を含む）

(1) 農業者等の経営支援に関する取り組み方針

当JAでは、農業者の協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を「当JAの最も重要な役割のひとつ」として位置づけ、当JAの担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適正な業務の遂行に向け、金融円滑化にかかる基本方針等を定め、対応しています。

(2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

当JAでは、ご利用者からの新規融資や貸付条件の変更等の申込みに対し、円滑に措置をとることが出来るよう、態勢を整備しています。

(3) 農業者等の経営支援に関する具体的な取り組み

当JAは、農業者等の経営支援に関する具体的な取り組みとして、下記のような具体的取り組みを実施しています。

- ・農業者をはじめとした地域活性化のための融資などの支援
- ・経営不振農家に対するコンサルティング
- ・弁護士による法律相談の実施
- ・負債整理資金の提供による償還負担の軽減
- ・地場産野菜・果物を用いた料理教室や親子農業体験教室の実施

地域貢献活動

●地域貢献に対する考え方

当JAは、大田原市、那須塩原市、那須町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。

- ・共生（利用者と「共生するJA」）
- ・創造（自ら時の流れを創り出します）
- ・挑戦（現状に満足することなく常に「一步前へ」挑戦し続けます）

を経営理念に、組合員・利用者の夢を実現するための運営・経営にあっております。

当JAの資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当JAでは資金を必要とする組合員の皆様方や地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて事業活動を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

ア. 組合員数	平成30年8月末	平成30年2月末
正組合員	13,067人	13,070人
准組合員	8,568人	8,427人
合計	21,635人	21,497人
正組合員戸数	11,151戸	11,173戸
准組合員戸数	6,546戸	6,454戸
合計	17,697戸	17,627戸
イ. 出資金	3,844百万円	3,834百万円

●地域からの資金調達状況(8月末)

貯金・積金平均残高

組合員等	129,538百万円
その他	37,040百万円
合計	166,579百万円

☆上記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金・積金3,543百万円が含まれています。

●地域への資金供給状況(8月末)

(1) 貸出金平均残高

組合員等	27,263百万円
その他	7,363百万円
合計	34,626百万円

☆上記「その他」には、地方公共団体等への貸出金2,445百万円が含まれています。

(2) 融資取扱状況

融資取扱状況(平均残高)

住宅ローン	17,562百万円
教育ローン	158百万円
自動車ローン	1,105百万円
営農ローン	1,165百万円
農業資金	3,094百万円
日本政策金融公庫資金	123百万円
農業近代化資金	859百万円
畜産特別資金	23百万円
災害条例資金	40百万円
就農支援資金	12百万円
その他制度資金	一百万円
その他	10,481百万円
合計	34,626百万円

※ 上記のうち、「日本政策金融公庫資金、農業近代化資金、畜産特別資金、災害条例資金、就農支援資金等」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業

後継者の育成などを目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことを言います。

制度融資には、大別して、国・県の財政資金による融資と、JA資金を原資として融資を行い、国、地方公共団体が利子補給を行う制度があります。

前者の代表的なものは日本政策金融公庫資金、農業改良資金であり、後者の代表的なものは農業近代化資金、畜産特別資金となっています。

●文化的・社会的貢献に関する事項(地域との繋がり)

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

JAは農業者が中心となって構成され、地域農業の振興を図り、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。

このため、農業関連を中心とした総合的な事業を展開しております。

組合員以外の一般の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保する公共的使命などを果たしています。

また、次代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食に地元農畜産物を提供したり、書道コンクールの開催、野菜の種まきや収穫作業といった農作業体験など、農業への関心を高める取り組みを行う一方、高齢者福祉事業の充実を図り、各種サービスの提供も行っております。

さらには、児童安全確保のため、配送用トラックや外務車両にステッカ

ーを貼り、パトロール活動を行ったり、積極的に地域安全活動に努めております。

あわせて、平成9年には「日光杉並木」のオーナーとなり、世界遺産を後世に残す取組みの一翼を担うことで文化的貢献を果たすよう努めています。

(2) 組合員・利用者との関係性強化

当JAでは、組合員相互の親睦を図るとともに、地域の皆さまとの結びつきを強化するため、毎年「JAまつり」の他、年金友の会によるグランドゴルフ大会やゲートボール大会の開催などの取り組みをすすめています。



(3) 情報提供活動

組合員の皆さま向けに、毎月「JAだより」を発行して、JAの事業や地域の情報を提供しています。

また、地域住民の皆さまへの情報発信として、コミュニティー誌「ホットライン」を発行するほか、インターネット上にホームページを開設して、身近でタイムリーな情報提供に努めるとともに、皆さまからの情報やご意見等をeメールでも受け付けています。

(4) 地方創生に関する事項

大田原市・那須塩原市・那須町との「包括連携協定」を6月25日に締結致しました。地方創生推進により地域の活性化に取り組んでいます。

ホームページ <http://www.janasuno.or.jp>

eメール soumu@janasuno.or.jp



金融再生法開示債権（単体）

（単位：百万円）

債権区分	平成30年8月末	平成30年2月末	増減	（参考） 30年8月 購買未収金
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	158	468	△310	3
危険債権	789	565	224	44
要管理債権	—	—	—	—
正常債権	34,937	33,580	1,357	667
合計	35,885	34,615	1,271	715

（注）1. 平成30年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2. 債権区分は、次のとおりです。

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

・法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。

〔資産査定における破綻先、実質破綻先〕

②危険債権

・経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。

〔資産査定における破綻懸念先〕

③要管理債権

・3か月以上延滞貸出債権及び条件緩和貸出債権です。

〔資産査定における要管理先債権額のうち3か月以上延滞貸出金及び貸出条件緩和貸出金〕

④正常債権

・債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び要管理債権以外のものに区分される信用事業債権です。

地方公共団体等への債権も含まれております。

単体自己資本比率

平成30年8月末	平成30年2月末
17.85 %程度	17.42 %

(注) バーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しております。また、8月末は、当J Aの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

主要勘定の状況

(単位:百万円)

	平成30年8月末	平成30年2月末	平成29年8月末
貯金	166,420	167,119	163,356
貸出金	35,337	33,759	34,356
預金	115,410	116,817	113,331
有価証券	12,779	13,776	12,293
購買未収金(参考)	715	737	751

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価後の残高です。

有価証券の時価情報

[売買目的有価証券]

売買目的有価証券については、当J Aでは投機的運用を行わないため保有しておりません。

[満期保有目的の債券]

満期保有目的の債券については、当J Aでは保有しておりません。

[その他有価証券]

(単位:百万円)

	種 類	30年8月末			30年2月末		
		取得価額	時 価 差	額	取得価額	時 価 差	額
時価が取得 価額を超え るもの	国 債	8,279	8,659	380	8,188	8,631	442
	地 方 債	3,399	3,713	313	3,599	3,942	343
	社 債	1,100	1,193	93	1,100	1,202	102
合 計		12,779	13,566	787	12,888	13,776	888

(注) 取得価額は償却原価法(アモチ・アキュム)適用後、減損処理前のものです。

平成 30 年度の取り組み①

日頃の感謝を込めて・・・ 「支店感謝デー」実施中

昨年に引き続きまして、各支店・出張所・営農経済センター・グリーンハウスで、日頃のご愛顧に感謝を込めて「支店感謝デー」を開催しています。

各店舗ごとに工夫を凝らしたおもてなしや季節に合わせたイベントをご用意しておりますので、皆様のご来店をお待ちしております。

大田原支店



高林支店



親園支店・大田原営農経済センター・グリーンハウス南店



黒羽支店・黒羽営農経済センター・グリーンハウス黒羽店



平成30年度の取り組み②

・ 3市町と包括連携協定の締結



JAなすのは平成30年6月に、大田原市・那須塩原市・那須町の3市町と包括連携協定を締結しました。この協定は各自治体が取り組んでいる「地方版総合戦略」の施策を展開する中で、お互いの知恵や情報、人材や技術を活用し相互効果を発揮しながら、様々な分野で連携・協力して「地方創生」の取り組みを推進・実現していくことを目的としたものです。

主な連携事項としては

- ① 農業の生産振興及び農業者の所得増大推進に関すること。
- ② 地域住民に必要なサービス提供による地域社会経済の持続的発展に関すること。
- ③ 地域の活性化に関すること。
などであります。

協定を締結したことにより行政との連携を強化し「地方創生」にも取り組んで参ります。

・ 黒磯ライスセンターの稼働



平成30年9月に黒磯ライスセンターが稼働しました。同施設は飼料用米の生粳受入を可能にすることで、飼料用米の生産拡大、農業者の所得増大につながる事が期待できます。

また、施設の空白地帯である黒磯地区の拠点施設が整備されたことで、JAなすのサテライト構想が完成し、農業者の設備投資コスト削減が図られます。

店舗等のご案内

店舗一覧

店舗名	住 所	電話番号	ATM 設置台数
本 店	325-0017 那須塩原市黒磯6—1	0287-62-5555	
大田原支店	324-0043 大田原市浅香1—2—3 2	0287-23-3331	1台
野崎出張所	324-0036 大田原市野崎1—7—1 0	0287-29-0003	1台
親園支店	324-0044 大田原市親園8 0 7	0287-28-1131	1台
金田支店	324-0062 大田原市中田原1 4 3 5—1	0287-23-6641	1台
西那須野支店	329-2735 那須塩原市太夫塚3—2 2 1—1 1	0287-36-0077	1台
塩原支店	329-2801 那須塩原市関谷2 0 5 0—1	0287-35-2531	1台
黒羽支店	324-0241 大田原市黒羽向町1 3 6 8—2	0287-54-1167	1台
湯津上支店	324-0405 大田原市湯津上3 7 2 4—3	0287-98-2315	1台
那須支店	329-3222 那須郡那須町大字寺子丙4—2 0	0287-72-6111	1台
高久支店	325-0001 那須郡那須町大字高久甲3 3 4 2—1	0287-64-1122	1台
伊王野出張所	329-3436 那須郡那須町大字伊王野1 7 1 7	0287-75-0004	1台
黒磯支店	325-0062 那須塩原市住吉町2—1 2	0287-63-2331	2台
厚崎出張所	325-0026 那須塩原市上厚崎2 3 5—1	0287-62-6332	1台
鍋掛出張所	325-0012 那須塩原市越堀3 8 7	0287-62-1003	1台
東那須野支店	329-3135 那須塩原市前弥六5 1	0287-65-3717	1台
高林支店	325-0116 那須塩原市木綿畑6 3 5—2	0287-68-0004	1台
大田原営農経済センター	324-0044 大田原市親園8 0 7	0287-28-1130	
塩那営農経済センター	329-2735 那須塩原市太夫塚3—2 2 1—1 1	0287-36-3818	
黒羽営農経済センター	324-0241 大田原市黒羽向町1 3 6 8—2	0287-54-1130	
湯津上営農経済センター	324-0405 大田原市湯津上3 7 2 4—3	0287-98-2311	
那須営農経済センター	329-3222 那須郡那須町大字寺子丙4—2 0	0287-72-5890	
黒磯営農経済センター	325-0026 那須塩原市上厚崎2 3 5—1	0287-62-6339	

※店舗以外ATM設置台数 14台



栃木県那須塩原市黒磯6番地1
那須野農業協同組合
TEL0287-62-5555 (代)